

キャリアプランニング・マトリックス

大阪府立大阪北視覚支援学校

キャリアプランニング・マトリックス(概要)

発達段階	幼稚園	小学部	中学部	高等部普通科	高等部理療科
目標と基本的方向性	卒業後の自身の生活に関心を持ち、自ら考えようとする態度を育成するとともに、自身のキャリアについて自己選択・自己判断・自己決定できる力を育む				
課題と方策	自発的・主体的な活動推進 ・ <u>五感遊び</u> ・ <u>身辺自立</u>	進路に係る基盤形成 ・ <u>身辺自立、自己管理</u> ・ <u>自己理解、他者理解</u> ・ <u>自己イメージの獲得</u>	現実的探索 暫定的選択 ・ <u>身辺自立</u> ・ <u>自己管理の向上</u> ・ <u>自己理解、他者理解</u> ・ <u>自己イメージの獲得</u>	現実的探索と暫定的選択 試行と社会的移行準備 ・ <u>身辺自立</u> ・ <u>自己管理の獲得</u> ・ <u>自己理解、他者理解</u> ・ <u>社会参加の選択と実行</u>	
推進の主な支援・指導ポイント	自発的、主体的な活動を促す	自主性・自立性・社会性・協調性を養う	将来の生き方について考えられる機会を持ち、進路選択に導く	将来にわたる多様なキャリア形成に必要な能力や態度を育成し、勤労観・職業観等の形成・確立に導く	

キャリアプランニングマトリックス(基本的・汎用的能力の指針)

発達段階	幼稚園	小学部	中学部	高等部普通科	高等部理療科
人間関係形成(調整力1) ・他者との関わりの中で相手の気持ちを考え、理解する力	・親しみをもって日常の挨拶や返事をする ・友だちのよさに気づき、一緒に活動することを楽しむ ・身近な人の声を聴き合わせる	【1～3年】 ・身近な人に対して、要求や拒否などの感情を自分なりの方法で表現できる ・安心できる場で様々な経験を積み重ねながら、身近な人と関わる楽しさを感じる 【4～6年】 身近な人に対して意志や要求を自分なりの方法で伝えることができる	・挨拶、返事などを自分なりの表現で表すことができる ・活動経験を増やし、挨拶、身だしなみ、場に応じた言動を身につける	・挨拶を自らするなど基本的な社会マナーが身につけている ・社会体験を通して新しい人間関係を構築することができる	・他者の話を傾聴して理解できる ・様々な分野の話題に対応し、積極的に人間関係を構築できる
社会形成能力(調整力2) ・社会との関わりの中で相手の気持ちを考え、理解する力	・良いこと、悪いことがあることに気づく ・ありがとう、ごめんなさいが言える、伝えようとする	1～3年 ・集団の中で、身近な人の声に気づいて関わりを受け入れることができる 4～6年 ・集団の中で相手に興味や関心を持ち、自分から関わるができる	・集団行動をすることで様々な人と関わり、マナーを知る ・円滑な人間関係を作るための言動や行動を身につける	・異年齢、異性の人等、多様な他者と場に合った適切なコミュニケーションを図る ・自立と社会参加に向け、社会体験などに積極的に取り組む	・他者の感情・思考や社会規範に配慮して行動する ・自らの責任で意思決定をする力を持つ
自己理解(実行力1) ・自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき、主体的に行動する力	・楽しい経験を積み重ねる中で、好きなことを増やす ・様々な活動の中から自分で選択する ・ごっこ遊びなどを通して、自分の役割に気づく	【1～3年】 ・楽しい経験を積み重ねる中で、好きなことや大切なことを増やす 【4～6年】 ・ことばかけを受けたり、友達の様子から感じたりして身近な人と一緒に、もしくは自分で「やってみよう」とすることができる	・今までに経験したことのない事にも挑戦し、自分の興味の幅を広げる ・自分ができる事、苦手な事を知り、援助方法などを身につける	・学校、社会で果たすべき役割を認識し、積極的に役割を担うことができる ・生きがいややりがいを見つけ、自己を生きる生き方や進路先を見つける	・自分自身を客観視し、肯定的にとらえる ・職業適性を判断しながら、進路を選択することができる
自己管理能力(実行力2) ・基本的生活習慣を身につけ、自身の障がいを理解して行動する力	・身の回りを清潔にする ・衣服の着脱、食事などの生活に必要な活動をできるだけ自分でしようとする ・健康的な生活リズムを身につける ・きまりの大切さに気づき、守ろうとする	【1～3年】 ・生活リズムを身につける 【4～6年】 ・自分の体調に気づき、身近な人に自分なりの表現で伝える	・身支度、食事など生活面で自分でできる事を増やす ・社会のルールなどを身につけ、行動する意識を持つ	・基本的生活習慣を身につけて、生活リズムが整っている ・社会的規範を認識し、行動することができる	・様々な場面で自己のなすべきことを理解し、責任ある行動ができる ・自分の障がいを把握し、残存能力を最大限に生かし、援助依頼ができる
課題対応能力(思考力) ・仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、計画を立てて処理する力	生活の中で様々な音や形、色、手触り、におい、動きなどに気づき、興味を持つ ・したい事、してほしい事を表現したり、わからない事などを尋ねたりする ・簡単な指示に応じた行動がとれる	【1年～3年】 ・活動や身の回りのことに興味を持ち、楽しく物事に向かうことができる 【4年～6年】 ・頑張ればできる課題に取り組む、課題に向き合う力や解決方法を身につけ、成功体験を積み重ねる	・作業の手順などを理解し、行動を持続する力をつける ・困ったときの対処(支援の求め方など)を自ら考え、行動する力を身につける	・物事を選択する上で自分なりの価値観と社会的規範の中で判断することができる ・問題が起きたとき、解決のための方策(援助依頼など)や適切な手段を選択し、表現できる	・目的に応じて、必要な情報を取捨選択し、活用できる ・問題が起きたとき、原因を調べ、課題を発見し、解決するための方策や適切な手段を選択できる

キャリアプランニング・マトリックス

発達段階	幼稚園	小学部	中学部	高等部普通科	高等部理療科
<p>キャリアプランニング能力 (計画力)</p> <p>・働くことの意義を理解し、多様な生き方に関する様々な情報を取捨選択、活用しながら主体的に判断し、キャリアを形成していく力</p>	<p>・幼稚園における生活の仕方を知り、見通しを持つ</p> <p>・当番や手伝いを通して、人の役に立つ喜びや自分に自信を持つ</p> <p>・家族の存在や家庭での役割、身近に働く人に興味・関心を持つ</p>	<p>【1～3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉かけを受けたり、友だちの様子から感じたりして、教師と一緒に、または自分で手伝いや係の仕事をする事ができる ・様々な職業があることを知り、「〇〇になりたい」という気持ちを持つ <p>【4～6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手伝いや係の仕事、児童会活動を進んで実行したり、友だちと協力したりして行うことができる ・将来の夢や希望に向けて努力をしようとする 	<p>・係活動、行事などの取組みを通して、協力して行動することができる</p> <p>・職場体験や見学を通して、将来の仕事や夢をイメージして、進路選択を考え始める</p>	<p>・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続きや方法を知る</p> <p>・様々な社会体験を通して、進路選択に関して、自己選択・自己決定ができる</p>	<p>・理療という仕事の持つ社会的意義を理解し、社会貢献できるように努める</p> <p>・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現するために努力する</p>
<p>感覚情報処理能力 (活用力)</p> <p>・保有視力、他の感覚を活用することができる力</p> <p>・白杖、援助依頼を行いながら移動ができる力</p> <p>・ICT危機を活用して情報収集できる力</p>	<p>・手指の巧緻性を高める</p> <p>・基礎的概念の定着を図る</p> <p>・見ることに興味を持ち、保有視覚の向上を図る</p> <p>・触れるものが何であるか興味を持ち、触察の力を高める</p> <p>・(呼ばれた)音源に向かって歩こうとする</p> <p>・慣れた場所は自ら伝い歩きで移動しようとする</p>	<p>【1～3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部分と全体、始点と終点の把握など、触察の基本を身に着ける ・自分にとって必要な視覚障がい者用教具や補助具の使い方を知る ・伝い歩きや手引き歩行により、校内の目的の場所へ移動ができる <p>【4～6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な図形を理解し、イメージしながら合成、分解、作図などに取組む ・自分にとって必要な視覚障がい者用教具や補助具を生活に取り入れる ・手引き歩行や白杖を用いて移動の範囲を広げる 	<p>・手引き歩行、伝い歩き、校内・校外歩行、乗り物の乗車などにより、行動範囲を広げる</p> <p>・自分に合った歩行方法を知り、移動範囲や手段を増やす</p> <p>・学校や日常生活の中でICT機器等の使い方を学び、情報収集や授業での活用、他者との関わりなどに活用できるコミュニケーションツールとしても活用できるようになる</p>	<p>・物の性質や仕組みを理解し、適切に活用できる</p> <p>・学習や日常生活でICT機器等を使い、自分が使いやすい仕様に設定し、社会的に活用できる</p> <p>・移動に関する情報を集め、必要に応じて他者に援助依頼も行いながら移動(歩行)ができるようになる</p>	<p>・学習や日常生活の様々な場面でICT機器を使いこなせる</p> <p>・臨床カルテなど他者と共有する文書作成ができる</p>